

劇

場

アンサンブル 東風 激情

The 26th Subscription Concert of
Ensemble KOCHI
Passion in the Theatre

第26回定期演奏会

観世流シテ方能楽師

高梨 良一

観世流シテ方能楽師

高梨 万里

ソプラノ

工藤 あかね

バリトン

松平 敬

演奏

アンサンブル東風



2026 2/2 月

19:00開演(18:30開場)

プレトーク 18:40~18:55

豊洲シビックセンターホール
(豊洲文化センター5階)

全自由席 [前売] 学生3,000円 / 一般4,000円

[当日] 学生3,500円 / 一般4,500円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

後援 (一社)日本作曲家協議会

助成 独立行政法人 日本芸術文化振興会

主催・お問い合わせ アンサンブル東風事務局 03-3887-1822

✉ ensemble.kochi@gmail.com

🌐 https://www.ensemble-kochi.jp/

松下 功:弦楽四重奏のための《藤戸》(1999)

Isao Matsushita "FUJITO" for String Quartet (1999)

川島 素晴:《インヴェンションIXc, X》(2025) 初演

ソプラノ:工藤 あかね バリトン:松平 敬

Motoharu Kawashima "Invention IXc, X" (2025)

【公募作品】クレアム・ハリス:《儀式的舞踏》(2017) 初演

Graham Harris "Ritual Ballet" (2017)

田村 文生:《羽衣の舞》(2025) 初演

シテ・天人:高梨 良一 後見:高梨 万里

Fumio Tamura "Dance of the Feathered Robe" (2025)

チケット取り扱い



アンサンブル東風



チケットぴあ
(Pコード:313-139)



イープラス



Peatix



芸術文化振興基金助成事業



高梨 良一 Ryoichi Takanashi
 [観世流シテ方能楽師]
 1948年7月千葉県野田市に生まれる。1966年関根祥雪に師事
 1968年東京藝術大学音楽学部能楽別科修了。
 能《乱》《石橋》《道成寺》《清経恋之音取》《安宅勧進帳 瀧流之伝》
 《望月》《砧》《求塚》《京都婆小町》《恋重荷》《翁》《鷺》を披曲。
 現在、シテ方能観世流能楽師、重要無形文化財総合指定保持者 日本
 能楽会会員、公益社団法人・能楽協会会員、一般社団法人・観世会会員



高梨 万里 Banri Takanashi
 [観世流シテ方能楽師]
 昭和57年生まれ。高梨良一長男。関根祥雪に師事。
 初舞台4歳仕舞《老松》、初シテ10歳《経正》。
 東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。平成23年独立。
 《石橋》《乱》《道成寺》を披曲。
 現在、シテ方能観世流能楽師、公益社団法人・能楽協会会員。



工藤 あかね Akane Kudo
 [ソプラノ]
 国内外の音楽祭に古楽、オペラ、現代音楽作品で出演、新作初演も
 数多く手がける。近年の演奏作品にはシュトックハウゼン《私は空を
 散歩する》、グルターク《カフカ断章》(全40曲の日本初演)、オペラ
 ではレロイ《鍵》妻(佐治敬三賞受賞作品)、入野義朗《曾根崎心中》
 お初、川島素晴《いしぶみの譜》荒吐姫などがある。
 第1回「柳慧」コンテンポラリー賞受賞。シェーンベルグ/シュタイン編
 《月に憑かれたピエロ》の世界初録音が「レコード芸術」にて特選盤。



松平 敬 Takashi Matsudaira
 [バリトン]
 東京藝術大学卒業、同大学院修了。現代声楽曲のスペシャリスト
 として、湯浅譲二、松平頼暁、西村朗など約200作の新作を初演。
 サントリーホール・サマーフェスティバル、新国立劇場などに出演。
 ソロCDとして4枚のアルバムを発表。2019年には著書『シュトック
 ハウゼンのすべて』を出版。平成22年度文化庁芸術祭優秀賞、第32回、
 第34回ミュージック・ペンクラブ音楽賞を受賞。文教大学、聖徳大学、
 武蔵野美術大学の非常勤講師。



グレアム・ハリス Graham Harris
 英国を拠点として活動するグレアム・ハリスは、ロンドン大学ロイヤル・
 ホロウェイ校、及びサリー大学で作曲を学んだ後、2020年にサリー大学
 にて修士号(優等)を取得した。電子音楽、管弦楽、室内楽、ソロ作品など
 多岐にわたる作品の一部は、ウィーンのユニバーサル・エディション社
 より出版されている一方、ウィーン・ボウヤー、ニコラ・ミーチャム、パディン
 トン・トリオ(2024年、ロンドンにおけるピアノ三重奏曲の演奏)など、
 多くの著名な演奏家によって演奏されている。イタリア、ウィーン等で
 数々の作曲賞を受賞。2023年7月までロンドン交響楽団のサウンド
 ハス・アソシエイト・コンポーザーを務めた。

アンサンブル東風

Ensemble KOCHI

松下功(1951-2018)を中心にベルリンで1983年に結成された
 パフォーマンス・グループ「東風(こち)アンサンブル 音響・絵画 ベルリン」に
 ちなんで、1999年、松下を代表に当時の若手作曲家および演奏家によ
 って新たに結成された室内管弦楽団。古典から現代まで幅広い
 レパートリーを持ち、日本を含むアジアの現代音楽の紹介に積極的
 に取り組んできた。これまでに韓国、台湾、タイ、ミャンマー、オランダなどの
 海外の音楽祭にも出演。2009年、2010年、奈良薬師寺玄奘三蔵院で
 オペラ《遣唐使〜阿倍仲麻呂》(松下功作曲)を初演し、反響を呼ぶ。
 2014年、「アジア音楽祭2014」にてベストパフォーマンス賞受賞。聴衆と
 一体になった音楽作りを目指し、活動を展開している。2024年2月には
 結成25周年記念公演を行い、好評を博した

賛助会員：薛 博仁 様

姫本 さやか
 中江 暁子
 大成 雅志
 堂山 敦史
 平井 志郎
 加藤 直明
 稲野 珠緒
 堀米 綾
 及川 夕美
 花田 和加子
 古川 仁菜
 中島 久美
 松本 卓以
 那須野 直裕
 田村 文生
 川島 素晴
 小坂 咲子
 朴 銀荷
 長野 麻子
 松下 律子

Fl
 Ob
 Cl
 Hr
 Tp
 Tb
 Perc
 Hp
 Pf
 Vn
 Vn
 Va
 Vc
 Cb
 指揮/作曲
 指揮/作曲
 作曲
 作曲
 音楽学
 代表

劇場の中の激情

元来、能と弦楽四重奏のために作曲された松下功《藤戸》は、ワキ方を演じつつ、「みはからい」を軸に新たな世界を
 生み出していく。川島素晴《インヴェンション》は、男女の痴話喧嘩を素材としたIXc、自己言及的展開の中、様々に
 感情がせめぎあうXと、文字通り「激情」的内容。グレアム・ハリス《儀式的舞踏》は、古代ブリテン／ケルトの儀式的
 雰囲気をつめたバレエ音楽。実際に能と共演する田村文生《羽衣の舞》は、謡とそのテキストに現れる笙や箏篋の
 響きが器楽によって描写されるなど、新しい上演様式を実践する。

以上、それぞれなりに「劇場の中の激情」に関係する四作品、ぜひ「劇場」でご体感下さい。

【会場】

豊洲シビックセンターホール
 (豊洲文化センター5階)

東京メトロ有楽町線「豊洲」駅7番出口より徒歩1分
 新交通ゆりかもめ「豊洲」駅改札フロア直結
 〒135-0061 東京都江東区豊洲2丁目2-18

